

Wonderful Story

理由を知れば、好きになる "324eco PRODUCTS"

使ったよかった、をカタチに。



海外でも高い評価を得る除菌剤や消臭剤を始め、近年は石鹸やサプリメントといった美容や健康関連商品でも、高感度層の支持を集める「324eco(ミツエ・エコー)ブランド」。

環境衛生・美容・健康という幅広い分野に日本が誇る最新技術を活かし、他社が容易に真似できない独自の製品開発を行っているのが、株式会社SBMplusの鈴木光代CEOだ。

現在の主力商品は4種。確かな効果にこだわり、消費者が「使ったよかった」と思える製品をコンセプトにしている。

まずは、超高性能消臭成分であるグラフト重合高分子を配合し、置くだけで強力消臭の効果に加え、PM2.5などの化学物質や花粉対策にもなる消臭浄化ジェル「FRESH」。アルコール不使用で安心なうえ、汚れだけでなく花粉やウイルスまでカットする光触媒の万能除菌パウダースプレー「PURE」。そして、水素のさまざまな効果が最後まで持続するスキンケアア石鹸「SHAMPOO BAR H2」。

と、スーパーフードのスピルリナなど、体に良い5つの成分を贅沢に配合したサプリメントの「SPRULINA + H2」。

現在はこのように生活に寄り添う商品を提供するSBMplusだが、前身は鈴木氏が義両親から継いだビルメンテナン事業。「SBM」は、旧社名の鈴木ビルメンテナンスを略したものだ。これまでの歴史に新しいものを加えていくという意味を込めて、「plus」を足した。鈴木氏の代から始まった新事業のひとつが、光触媒を使った環境関連商品の開発・製造販売だった。

「酸化チタンに光を当てることで活性酸素を発生させ、汚れのもとである有機物を分解するのが光触媒の原理。70年代に日本で発見され、日本で成長してきたこの技術を活かし、ビル管理会社やオーナーさんに新しい提案ができる製品を作ろうと考えたのが始まりです」。

2017年には、触媒施行技術などを、インドで開催された展示会に出展。大規模な出展者がひしめく中、極小のブースに置かれた自社製品が異例ともいえる注目を集めたことで手応えを感じ、帰国後にブランドを立ち上げた。さらにその翌年には

ドバイの展示会にも出展し、現地のパートナー企業を獲得。「日本製品として、他に先駆けて入っているマーケットを狙いたい」という鈴木氏の意思は当たり、ブランドの設立から1年で海外展開への足がかりを得るに至った。

「インドや中東、ヨーロッパなどは日本に比べれば衛生概念は低く、環境製品市場はこれから伸びが見込めます。とはいえ、単純なアルコール消毒ではない私たちの製品は説明するのが難しい部分もあり、実際に効果を感じてもらうために、各国で企業の方を集めたセミナーを開く予定を立てていました。ところ

がそうした動きがコロナ禍ですトップしてしまった。ですから現在はローストだけでなくローストにも力を入れて、今年からは自社のオンラインショップもスタートさせました」。

日本と世界各国の「最先端」を消費者に届ける

新事業での海外進出を見据えてJETROなどの公的機関とも連携し、あらゆる業界の知識を得るために異業種交流会にも積極的に参加していた鈴木氏。同社の美容・健康製品は、国内外で培った人脈と氏自身のバイタリティから誕生した。

たとえば、水素石鹸のもとになった水素を固形化する技術は、

日本の水素エネルギー開発研究から生まれたものだ。

「水素の固形化は実現できなかったものの、固形化された水素を取り出すには大掛かりな施設が必要になる。そのために協力してくれそうな海外の工場を探して欲しいという依頼をいただき、この技術をスキンケアに活かせるかと思っただけです」。

水素には強力な酸化作用があるものの、極めて小さな気体なので扱いが難しい。水素を配合した美容製品は数多くあるが、最後まで水素の効果が得られる製品はほとんどないという。

「水素を固形化するこの技術を使えば、世界で初めて最後まで水素が活きた石鹸が作れる。そう考えて国内外の幾つもの工場に掛け合い、ようやく実現したのが「SHAMPOO BAR H2」。洗浄力の高い弱アルカリ性ですが、水素を豊富に含むので肌に優しい。また、肌の奥まで浸透する水素がブースターとなり、20種類以上の天然成分を肌に浸透させてくれるのも特徴。肌の状態を整えてくれるだけでなく、頭皮ケアに使うと抜け毛やフケの改善にも効果を発揮する

オンラインの石鹸です」。

昨年12月に発売されたばかりの「SPRULINA + H2」も、開発のきっかけは実にユニーク。

「JRAなどが実施した、競走馬に水素水を飲ませる実験の結果を見たんです。ストレスの多い競走馬の80%には胃潰瘍があり、水素水を飲ませるとそれが改善されていた。中東には下バイ競馬場があるので、最初はそちらで協力者を得て競走馬用サプリメントの開発を考えたいのですが、やはり『自分が飲みたい!』と思いつき、健康食品に舵を切り変えました」。

鈴木氏が厳選した5つの成分を贅沢に配合し、高い酸化効果が期待できる。そんなサプリメントは石鹸と同様に、着実にファンを増やしている。

「今後はビルメンテナン事業を昔からの社員に譲り、ブランドを育てることに注力していきます。社員は160名から1名だけに。初心に戻る再出発ですが、国内外で出会った仲間とともに、今後も『使ったよかった』と思ってもらえる製品を開発していきたいですね」。

日本の技術を活かした、世界で愛される製品を——。鈴木氏のパワフルな挑戦は続く。



全身のケアはこれ一つでOK。水素が最後まで活性化するオンリーワンの水素石鹸「SHAMPOO BAR H2」。

Interview

株式会社SBMplus 代表取締役 CEO 鈴木光代・SUZUKI MITSUYO

<https://www.324eco.com>

